

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもみらい光（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	7年 1月 6日 ～ 7年 1月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	7年 3月 3日 ～ 7年 3月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている」点、「事業所の職員から共感的に支援をされている」点がアンケートでは、高く評価されている。	支援者が子どもと共感的に関わることは、支援の基礎としているが、そのことが、保護者との日常的な関わりを通して、ご理解いただけている。また、保護者との話し合いの場を多くもつこと、時に、活動をともにしながら、子どもの成長発達を共有することを日常の場面で心がけている。	左記の取り組みは引き続き行っていきたいと考えているが、来年度以降は、支援内でそうした保護者との情報共有の時間を明確に共有していきたい。
2	子どもの自尊感情を高める場となりえていること、また、「また来たい」場所となりえていることがアンケートでは、高く評価されている。	毎回、子どもにとっては楽しい活動を心掛けるとともに、日々の声かけを工夫している。加えて、こういった場面で、子どもの育ちの姿が確認されたかエピソードをもとにした記録を毎回行っている。	左記の取り組みは引き続き行っていきたいと考えている。また、そうした記録をもとにした、保護者との話し合いの時間を設けていき、保護者の安心にもつなげていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。	初年次ということもあり、父母の会をつくる場が整っていないかった。	まずは、「先輩保育者とおしゃべり会」などを企画していきたい。
2			
3			